

2023 年度

学位（博士）の授与に係る論文内容の
要旨及び論文審査結果の要旨

(2023 年 9 月授与分)

北九州市立大学大学院
社会システム研究科

目 次

学位番号	学位被授与者氏名	論文題目	頁
甲第 1 1 8 号	椎葉 彩	Learning Formulaic Sequences at a Japanese University: Flashcards, Tasks, and Speaking Practice	1

学位被授与者氏名	椎葉 彩 (しいば あや)
学位の名称	博士 (学術)
学位番号	甲第 118 号
学位授与年月日	2023 年 9 月 25 日
学位授与の要件	学位規則 (昭和 28 年 4 月 1 日 文部省令第 9 号) 第 4 条第 1 項該当
論文題目	Learning Formulaic Sequences at a Japanese University: Flashcards, Tasks, and Speaking Practice
論文題目 (英訳または和訳)	日本の大学における定型表現の学習 - フラッシュカード、タスク、およびスピーキング練習を通して -
論文審査委員	論文審査委員会委員主査： 北九州市立大学外国語学部 教授 Ph.D. Linguistics Jenifer Larson-Hall 同審査委員： 東京理科大学 教養教育研究院 准教授 Ph.D. in Applied Linguistics Jeffrey Stewart 同審査委員： 北九州市立大学基盤教育センター 教授 Ph.D.(Linguistics) 漆原 朗子
論文審査機関	北九州市立大学大学院社会システム研究科
審査の方法	北九州市立大学学位規程 (平成 17 年 4 月 1 日 大学規程第 79 号) 第 10 条各号の規定に基づく学位授与判定による
論文内容の要旨	<p>Ms. Shiiba's thesis addressed the issue of formulaic sequences (FSs), including phrasal verbs (PVs) and collocations. She conducted 4 different experiments to test methods to more effectively learn these difficult but crucial items in English. FS play an important in natural language usage, enabling non-native speakers to express complex ideas fluently and accurately. Her findings revealed: (1) learners achieved remarkable memorization rates for PVs by using an electronic flashcards system, even after a semester after the study period was over and students did not continue to study; and (2) incorporating speaking activities along with flashcards proved beneficial for increased usage of PVs in spontaneous speech.</p> <p>椎葉さんの論文は、句動詞 (PV) や連語を含む定型句 (FS) の問題を扱っている。椎葉さんは 4 種類の実験を行い、英語におけるこれらの難しいが重要な項目をより効果的に学習する方法を検証した。FS は自然言語使用において重要な役割を果たし、非母語話者が複雑な考えを流暢かつ正確に表現することを可能にする。その結果、(1)学習者が電子フラッシュカードシステムを使用することで、学習期間が終了し、学習が継続されなくなった 1 学期後でも、PV の驚異的な暗記率を達成したこと、(2)フラッシュカードとともにスピーキング活動を取り入れることで、自発的な発話における PV の使用率が向上することが証明された。</p>

<p>論文審査結果の 要旨</p>	<p>The entire committee found that Ms. Shiiba's revised thesis was an excellent piece of scholarship. Ms. Shiiba underwent many rounds of criticism and revision but the committee felt her underlying research was valid and commendable, and in the end the writing was revised to meet the demands of all of the committee members.</p> <p>委員会全体は、椎葉さんの修正された論文が優れた学術論文であることを認めた。椎葉さんは何度も批評と修正を受けたが、委員会は彼女の根本的な研究が妥当であり、賞賛に値するものであると感じ、最終的には委員全員の要求を満たすように文章が修正された。</p> <p>2023年8月4日に、北九州市立大学北方キャンパス本館D-603教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が博士(学術)として十分な内容であると判定した。</p>
-----------------------	---

2023 年度学位（博士）の授与に係る論文内容の要旨及び論文審査結果の要旨 第 31 号 （2023 年 9 月授与分）

発行日 2023 年 9 月

編集・発行 北九州市立大学 学術振興課

〒802-8577

北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号

電話 093-964-4021